

平成 28 年度 日本図書館協会公共図書館部会総会記録

日時：2016 年 6 月 17 日（金） 午前 11 時 15 分～12 時 45 分

場所：日本図書館協会研修室

出席者数：個人会員 26 名、施設等会員 27 名、委任状出席者 1693 名

議長選出：

理事長挨拶の後、議長選出を行った。乙骨敏夫会長に代わり、第 1 回幹事会で平成 28 年度公共図書館部会会長に選任された、埼玉県立熊谷図書館長代島常造氏が議長に選出させた。

総会の成立：

事務局より、総会開始時における出席者 41 名に加え、委任状出席者 1693 名、合計 1734 名の参加があり、部会構成員数の過半数 1605 名を超えていることが報告され、議長が総会の成立を宣言した。

議事：

- 1 議事次第のうち、1) 平成 27 年度事業報告案及び平成 27 年度決算報告案、並びに 2) 平成 28 年度事業計画案及び平成 28 年度予算案が、事務局よりまとめて報告を受けた。議事 1) 及び議事 2) が、いずれも拍手で承認された。

主な意見：

- 1) 研究集会の予算決算を決算報告の際、必ず添付するべきであるとの意見があり、来年度の決算報告から、実施することとなった。併せて、研究集会の予算を部会予算の中に組み込めるかどうか、検討とすることとなった。
- 2) 昨年度の総会で出された武雄市図書館に関する調査を幹事会が実施しないこととことに対し、疑問とする意見が出された。また、指定管理者が運営している図書館全体に調査の範囲を広げ、図書館協会政策企画委員会と協力して部会としての検討を行うべきとの意見があった。

議論の結果、図書館協会で政策企画委員会を中心に行われている指定管理者制度の現状を踏まえた議論と評価の作業を、あくまで見守る姿勢で臨むことが確認された。
- 3) 幹事会交通費について、部会全体に占める割合が大きいことに対し、質問と意見があった。これに対し、事務局から施設会員の交通費は自治体で負担してもらえる状況になく、理解を求めるとの説明があった。
- 4) 部会事務局を、図書館協会事務局で担っていることに対し、施設会員のどこかが担うべきではとの意見があった。これに対し、事務局から自治体をめぐる状況の変化により、事務局は図書館協会の負担にならざるを得なくなっている現状について説明があった。
- 5) その他の意見
 - ・部会事業を展開し、事業費を増やすべきとの意見があった。

- ・ 図書館協会の地域図書館団体活動費の内容を改善して欲しいとの要望があった。
- ・ 7月1日開催される「都道府県立図書館サミット 2016」について質問があった。
- ・ 施設当選出代議員の代議員総会への出席を促す発言があった。

2 平成 28 年度役員の変更について

- ・ 4月1日に異動により、施設等会員選出の幹事 5 名が変わったことが報告され了承された。また、部会選出代議員のうち 4 名の異動による交代が了承された。
- ・ 部会長（乙骨敏夫氏）副部会長（坂上知之氏）の退職に伴い、後任の館長である代島常造氏が平成 28 年度の部会長に、加藤信二氏が平成 28 年度の副部会長につくことが了承された。

なお、公共図書館部会 HP では、今年度の部会総会に提出された議案及び資料について、下記 URL で公開しておりますので、ご参照ください。